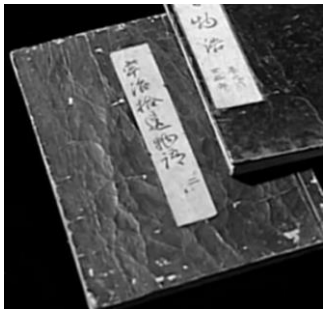


『児のそら寝』ワークシート② へ『宇治拾遺物語』とは？

● うじしゅういものがたり 『宇治拾遺物語』



- ・ 成立はいつ？
- ・ 作者・編者は？
- ・ 説話とは？
- ・ 説話はいくつ？

(	(	(	(
(	(	(	(

● 収められている説話

次の文章は、現在も読まれる昔話のもととなった説話の一節です。昔話の題名を書きましょう。

1
今は昔、大門にてけつまづきて、うつぶしに倒れにけり。起きあがりたるに、あるにもあらず、手ににぎられたる物を見れば、藁わらすべといふ物をただ一筋ひとすじにぎられたり。

()

2
これも昔、右の顔に大きな瘤こぶある翁おきなありけり。薪たきぎをとりて世を過ぐる程に、山に行きぬ。雨風ははしたなくて帰るに及ばで、山の中に心にもあらずとまりぬ。

()

3
中ごろのことなるに、いつくしき男子をまうけけり。さりながら、生まれおちてより後、背一寸ありぬれば、はや十二、三になるまで育てぬれども背も人ならず。

()

4
今は昔、春つかた日うらかなりけるに六十ばかりの女のありけるが、庭に雀すずめのしありけるを、童石わらべを取りて打ちたれば、当りて腰をうち折られにけり。

()

5
今は昔、池尾といふ所に禪珍内供ぜんちないぐといふ僧住みき。さて、此の内供は鼻の長かりける、五六寸ばかりなりければ、顎あごよりも下がりてなむ見えける。

()

*この中に一つだけ『宇治拾遺物語』に収められていない話があります。どれでしょう。

()

※ 説話の題名

「雀報恩の事」
すずめおんをむくゆる

•



「鼻長き僧の事」

•



「鬼に瘤取らるる事」
こぶ

•



「長谷寺参籠の男、利生に預かる事」
はせでらさんろう
りしやう あづ

•



「二寸法師」
いっすんぼうし

•

